

(参考資料)

## EPAの進捗状況

今後1年程度のEPA工程表(2006年5月策定)			現状(2007年2月6日現在)
国・地域	策定時点における状況	策定時点における目標	
シンガポール	2002年11月に協定発効。なお、本年4月、EPAの一部見直し交渉開始を決定。	日ASEAN協定交渉の進捗を勘案しつつ、可能な限り早期の合意を目指す。	発効済み(見直し交渉で2007年1月大筋合意)。
メキシコ	2005年4月に協定発効。	—	発効済み。
マレーシア	本年4月26日に国会で承認。	本年中の可能な限り早期の発効を目指す。	2006年7月に協定発効。
フィリピン	協定条文等につき交渉中。	本年中の可能な限り早期の署名を目指す。	2006年9月協定に署名。
タイ	本年2月初めの交渉会で協定条文が基本的に確定。	タイ側の政治状況の許す可能な限り早期の署名を目指す。	—
チリ	本年2月に交渉開始。	本年秋頃までに交渉の主要点について実質的な妥結を目指す。	2006年9月に大筋合意。
インドネシア	昨年7月より交渉開始。	本年夏頃までに交渉の主要点について実質的な妥結を目指す。	2006年11月に大筋合意。
ブルネイ	本年2月より準備協議を実施中。	本年半ばまでの交渉立上げ、本年中の交渉の主要点についての実質的な妥結を目指す。	2006年12月に大筋合意。
ASEAN全体	昨年4月より交渉開始。	2007年春までの実質的な交渉終了を目指す。	—
韓国	2004年11月以来交渉中断。	交渉再開に向け、引続き粘り強く韓国側に働きかける。	—
湾岸諸国(GCC)	FTA交渉開始を決定。本年5月にその準備会合を開催予定。	本年夏頃までの交渉開始、速やかな交渉進展を目指す。	2006年9月より交渉開始。
ベトナム	本年2月より共同検討会合を実施中。	本年中の可能な限り早期の交渉立上げ、速やかな交渉進展を目指す。	2007年1月より交渉開始。
インド	昨年7月より共同研究会を実施中。	本年半ばに提出される予定の共同研究会報告書を踏まえ、交渉立上げの是非を判断する。	2007年1月より交渉開始。
オーストラリア	昨年11月初めより政府間共同研究を実施中。	共同研究における検討を加速化し、その結果を踏まえて交渉立上げの是非を判断する。	2006年12月に両首脳間で交渉開始を決定。
スイス	昨年10月末より政府間共同研究を実施中。	共同研究における検討を加速化し、その結果を踏まえて交渉立上げの是非を判断する。	2007年1月に両首脳間で交渉開始を決定。

(注)グローバル戦略(2006年5月経済財政諮問会議決定)をもとに内閣府作成。